

情報の共有 Web会議 POP作成・動画作成

科目	課題研究 「春日井商業プロジェクト」	タブレット	【画面サイズ・OS】 10インチ・Windows10 【使用機能アプリ等】 PowerPoint Teams(チャット, ファイル共有) Zoom(Zoomビデオコミュニケーション, 以下「Zoom」と表記) カメラ機能 【使用台数】 1人1台
内容	春日井市観光コンベンション協会と春日井市を盛り上げるための企画会議をする。		
対象	(学年) 3年生 (人数) 19名 (単位数) 3単位	他のICT機器	大型ディスプレイ
目標	タブレットを活用して, 課題の現状を正確に把握するとともに, 限られた時間でより効率的な活動を行う力を養う。		

1 授業の流れ

<主な学習活動>

 …タブレット活用場面

1 調べ学習を行う。

春日井市で行われているイベントや催物, 催事の時期や開催場所を調べ, 他のイベントなどと競合しないように調整する。

2 計画を立て, 提案する。

自分たちが行う催事の時期を検討し, 販売実習に協力してもらえる店舗を調べ, 観光コンベンション協会に提案する。



3 テーマを考える。

販売実習において, 購入者に特別感をもってもらえるよう, 自分たちが出店するテーマを考える。

4 情報の共有を行う。【1】

Teamsを活用し, 情報をまとめたデータ(店舗の情報や電話のかけ方等)を共有する。

5 Web会議で出店交渉を行う。【2】

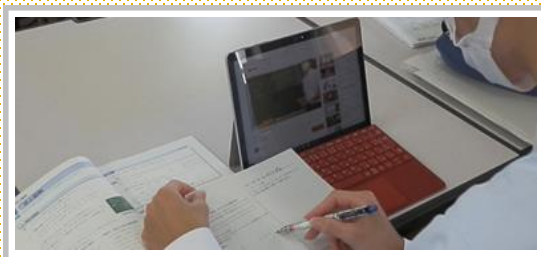
今回本校が主催するイベントに参加してもらいたい店舗に, Web会議を用いて出店交渉を行う。

6 POP作成・動画作成を行う【3】

販売を促進するため, SNS等で流すためのPOPや動画を作成する。

2 タブレット活用の効果

【1】情報の共有



販売実習に参加してくれる店舗の情報や販売商品について調べ、いつでも確認できるようデータの整理、共有を行った。タブレットで店舗に関するデータを共有することで、より細かな内容を確認することができ、作業効率が上がった。

【2】Web会議



出店交渉の際、Web会議を活用することで、今まで直接出向いていたときと比べ、かなりの時間短縮になった。しかし、今まで対面で説明できたことも画面越しになり、こちらの意図したことが伝わりづらくなってしまった。そのため、相手に伝わりやすく、簡潔に説明できるように工夫をして準備を行った。

【3】POP作成・動画作成



タブレットを使うことでパソコンではできなかった、リアルタイムでのデータ共有やデータの改善ができるようになった。その結果、作業効率が格段に上がり、POPや動画全体の統一感が生まれた。さらにPOPや動画の全体の統一感が生まれることで、相手に伝えたい趣旨がぶれることが少なくなった。

3 授業者の声

よかった点

今までは会議を行うには対面でしか行えなかったが、Web会議を行うことで、手軽に何度でも行えた。また、データの共有も可能になり、今までは記憶媒体を用いて行っていた作業もタブレットを用いることで可能になった。

今後に向けて

タブレットを用いることで、会議を行うことやPOP動画作りでの時間が大きく短縮することができるようになった。その分の時間を、Web会議を行うための資料準備やプレゼンの練習、生徒同士でのWeb会議のリハーサル、効果的な広告作りの研究に充てていきたい。

4 他場面での活用

連絡掲示板

STやクラス内での連絡、部活動内でのスケジュール管理等、タブレットにグループを組み、そこに入力することでいつでも確認することができ、情報共有をすることができる。従来は印刷物を配る必要があったが、タブレットがあればペーパーレスに繋げることができる。

学習用コンテンツ

授業内でインターネットを使った調べ学習や作品作り、資料整理ができるだけでなく、学習用コンテンツを準備することで自宅での学習のフォローアップが可能になる。さらに各教科の単元ごとの概要やポイントをいつでも閲覧でき、単元の予習や復習に活用することができる。